

# 室蘭・ベーカリーあけぼの

## あすオープン

### 支援施設利用者ら準備に大忙し

室蘭・活動支援施設あけぼの(荒井昌彦所長)の利用者らが作ったパンを販売する「ベーカリーあけぼの」が20日、室蘭市白鳥台の同施設内でオープンする。利用者らは開店に向け準備に追われている。(西川悠也)



利用者らが作ったパンが並ぶ店内

市民の要望を受け、同施設の新築移転を機に開店する。10、60代の利用者ら11人が材料にこたわって作った焼き立てパンが50、330円(税込み)の手頃な価格で販売される。同店舗の面積は24・64平方メートル。営業時間は午前11時半～午後4時半。店内には天然酵母を用いた食パンや国産のバターを使ったクロワッサンなど34種類のパンが並べられるほか、中標津町の山本牧場で放牧された牛の乳を使ったソフトクリームなどが販売される。収益金は全て利用者らの工賃に充てられる。また「イー・トインスペース」も設けられ、買った商品をその場で食べることができる。同施設の職員、金澤範子さんは「地元の皆さんに愛されるパン屋を目指して、スタッフ一同励みます。どれもおいしいですが、クロワッサンや食パンは特にオススメです」と利用者らと一緒に多くの来店を呼び掛けている。